

一般質問通告一覧表(令和8年第3回定例会)

9月2日(水曜日)午前10時～[発言順1、2番]

発言順	通 告 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1番	4番 永清 和寛	(1) 被災者に寄り添う防災計画のあり方	①発災直後の支援体制 ・備蓄品の取扱い ・炊き出し受入れの体制 ・ボランティア受入れの体制 ・災害ゴミ対応 ②自治会の立ち位置 ・コミュニティセンターや公民館の取扱い ・平時の自主防災訓練の実施状況 ③避難生活支援 ・酷暑や極寒の中の避難対策 ・口腔ケアの対応 ・他自治体との防災連携 ④雨水出水浸水対応 ・側溝、浸透井戸、地下貯留設備などの管理
		(2) 合志楓の森PTA活動を経験しての気づき	①人権学習に加える学び ②45分授業の取り組みと、その成果 ③不足または老朽化する部活動備品の対応 ④カームダウンスペースのあり方 ⑤防災頭巾の取り扱い ⑥達成感に繋がる環境教育の取り組み
		(3) 災害ボランティア等を通して感じた避難所のあり方	①非常用発電の多様化 ・避難所の停電時の対応は ・バイオディーゼル発電機の導入 ・廃油回収の現況 ②避難所の受入れ体制 ・乳幼児の受入れ ・ペットの受入れ

一般質問通告一覧表(令和8年第3回定例会)

9月2日(水曜日)午前10時～[発言順1、2番]

発言順	通 告 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
2 番	1 番 中元 緑	(1) 今回の地震を踏まえた災害対応の検証について	①今回の地震を踏まえた災害対応の検証・見直しについて 今回の地震における県内被災自治体の対応や課題を踏まえ、本市の災害対応について、現時点で見直しが必要と認識している点はあるか。また、今後、地域防災計画や避難所運営等を含めた検証・見直しを行う考えを伺う ②備蓄品及び災害時応援協定の検証・見直しについて 今回の地震を踏まえ、本市の備蓄品の品目、数量、配置及び運用並びに、災害時応援協定の内容、協定先との連絡体制や役割分担等について検証し、必要な見直しを行う考えを伺う
		(2) 特定事業主行動計画の推進について	①計画の目標達成に向けた現状認識について 特定事業主行動計画に掲げる女性管理職の登用をはじめとする目標について、現状をどのように評価し、目標達成に向けた課題をどのように認識しているか伺う ②時間外勤務の状況と取組について 令和8年4月以降の時間外勤務の状況と、時間外勤務の縮減に向けた取組について伺う ③計画を推進するための体制について 特定事業主行動計画の目標達成に向け、今後どのように計画を推進していく考えか伺う
		(3) ファミリー・サポート・センター事業について	①利用状況と利用につながらないケースについて 近年の新規登録者数、新規利用者数、実利用者数及び活動件数の推移について伺う。また、利用を希望したものの、実際の利用につながらなかったケースを把握しているか伺う ②利用上の課題と運用改善について 利用者及び協力会員から寄せられている利用上の課題をどのように把握しているか。また、より利用しやすい事業とするため、運用を見直す考えを伺う
		(4) 児童の通学時の荷物の負担軽減について	①各学校における負担軽減の取組について 児童の通学時の荷物の負担軽減について、各小学校で現在どのような取組を行っているか伺う ②算数セット等の備品化の進捗について 以前の一般質問で提案した算数セット等の学用品の備品化について、その後の各小学校における取組状況を伺う

一般質問通告一覧表(令和8年第3回定例会)

9月2日(水曜日)午後1時～[発言順3、4番]

発言順	通 告 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
3 番	6 番 辻 大二郎	(1)避難所運営について	①人的・物的被害について ②装備・装具の常備について ③避難所の体制作りにについて
		(2)計画的な排水処理について	①内水・外水氾濫について ②本市の地形的特徴について ③マンホール蓋の交換について
		(3)学校へのバスの乗り入れについて	①修学旅行や校外学習にバスが学校へ乗り入れ出来ない理由について ②道路事情や安全基準について ③門扉拡張について ④バスの乗り入れルートについて ⑤災害時への避難所活用について
4 番	1 4 番 濱元 幸一郎	(1)防災対策について	①今回の熊本地震の合志市の被害状況と発災直後の対応 ②避難所の環境について。合志市ではスフィア基準に基づく避難環境の整備はなされているか。食料・飲料水の備蓄、居住スペースの確保、段ボールベッド、パーティションの開設時設置、温かく栄養バランスの取れた食事の提供、入浴・洗濯の機会、トイレの確保など、現状はどこまで達成できているのか。また今後の対策について伺う。 ③令和9年度末で防災行政無線・屋外スピーカーを撤去する方針だが、見直すべきではないか。伝達手段のさらなる改善が必要ではないか。 ④10年前と同様に、今回の熊本地震でも被害の大きかった宇城市や宇土市、八代市、氷川町などでは生活の基盤となる住宅が甚大な被害あっている。被災者生活再建支援制度の上限額の引き上げ、対象を一部損壊まで拡大するべきではないか。また災害救助法の応急修理の対象を一部損壊まで拡大することが必要ではないか。国に要望し制度を拡充することが、いざ災害あった時の備えにもなるし、いま被害で苦しんでいる被災者の生活再建のためにも必要だと考える。合志市の見解を問う。
		(2)高齢者支援の拡充について	①近年、夏は異常な猛暑が続いており、熱中症による救急搬送も増加している。搬送された高齢者は経済的な理由からエアコンの使用を控えるか、エアコンを設置していないケースがほとんどである。高齢者の健康を守るためにもエアコンの購入助成制度が必要ではないか。合志市の認識と今後の対応を問う ②加齢性難聴者への補聴器購入の助成制度を合志市でも導入すべきだと考えるが見解は

一般質問通告一覧表(令和8年第3回定例会)

9月3日(木曜日)午前10時～[発言順1、2番]

発言順	通 告 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 番	1 5 番 上田 欣也	(1)合志市広域交通拠点周辺整備計画について	①重点区域土地利用計画を上書きする計画か ②拠点ごとの事業費、総投資額を見積もっているか ③計画目標の達成時期をどう考えているか ④計画を進めるうえで、独立した部署が必要ではないか。また諸課題を解決する見通しはあるのか
		(2)生涯学習について	①図書館と歴史資料館及びマンガミュージアムを生涯学習の推進において、どう位置づけ、活用していくのか ②指定管理者制度の利点と限界について
2 番	3 番 大塚 薫	(1)災害時の受援体制について	①必要となる応援人員の想定について ②自治体間の災害時相互応援協定について ③協定先との定期的な確認と情報の更新 ④業務や役割を明確にして要請できる体制か ⑤女性の視点を持って対応できる人材の配置 ⑥応援の受け入れを想定した訓練について ⑦どのように訓練・検証を重ね、受援体制の実効性を高めていくのか
		(2)手話言語条例の制定について	①手話言語条例を制定する目的 ②ろう者団体の意見の反映 ③どのような施策を予定しているか ④学校教育の場における理解・促進 ⑤当事者が参画する協議の場 ⑥災害時の体制整備について
		(3)生活困窮者の相談体制について	①相談受付の手段と、利用状況 ②どのような課題認識があるか ③相談フォーム等の事例の把握 ④導入についての見解